

夕張高校魅力化プロジェクト 推進に係る報告会

令和4年7月15日
夕張中学校

夕張高校魅力化プロジェクトの概要①

背景

- 市内唯一の高校である道立夕張高校の生徒数が減少
- 子どもたちが減ることによって「まちの活気」が失われる
- Uターン、移住者の減少、廃校となった場合の子育て世帯流出の懸念
- 高校関係者のみならず住民生活全体に直結する問題



廃校となった場合のまちの未来に危機感を持った有志の市職員でWGを立ち上げ、生徒が行きたい、保護者が行かせたい、地域も活かしたい、三方良の取組とすべく魅力化プロジェクトの検討を開始。

魅力化プロジェクトの検討実績

- 平成27年にワーキンググループを発足し検討を開始。
- 資格取得の半額助成や部活動支援などについて市長へ提言し、平成28年度予算化。
- 平成28年度財政再生計画の抜本の見直しで市の主要施策として位置付ける。
- ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施(約2,300万円の寄附)

夕張高校は絶対になくさない！日本が直面する課題を学ぶフィールドとなるために。
～夕張高校魅力化プロジェクト～



〈参考データ〉

- ★夕張高校全校生徒数
H24: 156名、H27: 110名、H30: 66名、R3: 53名、R4: 51名
- ★夕張中学校からの進学率
H24: 84% (52名/62名)、H27: 57% (37名/65名)
H30: 68% (27名/40名)、R3: 45% (15名/33名)
R4: 60% (18名/30名)
- ※平成27年度アンケートにて、夕張高校進学を希望する中学生は「30%」
- ★夕張市人口推移
H24: 10,390人、H27: 9,205人、H30: 8,211人、R3: 7,145人
- ※住民票基本台帳各9月末時点

夕張高校魅力化プロジェクトの概要②-1

公設塾「夕張学舎キセキノ」

市内における高校生の学力の向上及び目標進路の実現並びに社会で活躍できる人材を育成し、多様な学びと交流をとおして「次の社会のカタチ」を探求することを目的に、公設塾「夕張学舎キセキノ」を設置し運営している。令和3年度からは、民間事業者へ業務委託し、個別学習カリキュラムに基づく週1コマ（60分）のマンツーマンオンライン授業と現地講師2名による個別指導を実施。

事業実績

H30年4月の開設以降、公設塾では生徒一人ひとりに合わせた通塾スケジュールに基づく個別学習指導を中心に、大学、専門学校進学や公務員試験などの就職活動に向けた希望進路実現のサポートを行っている。令和3年度は、通年にわたり18名の生徒がキセキノに通塾。

- ・利用料は月額3,000円（テキスト代別途）。
- ・現地講師2名の他、経験豊富なオンライン授業の講師が多数在籍。
- ・月に1度キセキノ講師・高校・夕張市で情報交換会を開催し、生徒毎の情報を共有。
- ・長期休業期間中に中学生へ施設を開放するなど、小中学生への学習環境づくりにも取り組んでいる。
- ・昨年度、3年生の塾生4名は、それぞれの希望進路を実現（大学、専門学校、公務員）。

■入塾者数実績

平成30年度20人、令和元年度18人、令和2年度23人、令和3年度18人

■その他

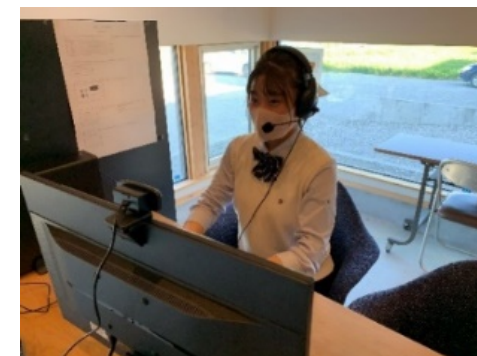
民間事業者へ委託して2年目。経験を活かしたきめ細やかな指導やオンライン授業の追加受講など、柔軟な対応によりチャレンジする生徒のサポートを行っています。

【参考】R3年度夕張高校3年生進路状況

	全体	うち 公設塾生
四大	3	2
うち国立	1	1
専門学校	8	1
就職	6	1
うち公務員	1	1
合計	17	4



キセキノでの指導の様子



マンツーマンオンライン授業の様子

夕張高校魅力化プロジェクトの概要②-2

マンツーマンオンライン英会話

小中高一貫した英語教育として、タブレット端末を活用したオンライン英会話の実施に向け、校舎内のネット回線の新設や無線アクセスポイントの設置、さらにはタブレット端末の購入などの環境整備を行った。

◇事業実績

マンツーマンオンライン英会話は、各学年英語の授業において年間20回程度実施しているほか、海外短期留学の予備学習としても活用されており、短期留学と合わせ、英語力やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材の育成に寄与しています。

■ 英語検定合格者数

- H30年度：8名（受験者数16名、合格率50%）
- R元年度：7名（受験者数13名、合格率54%）
- R2年度：9名（受験者数18名、合格率50%）
- R3年度：7名（受験者数16名、合格率44%）
- ※R3合格者内訳：2級3名、準2級2名、3級2名



海外短期留学

小中学校から通じて学んだ英語やコミュニケーション能力を活かす実践の場として、海外での語学研修・ホームステイを実施。

◇事業実績

H30年度よりハワイへの海外短期留学を実施しました。R2,3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本事業の実施を見合わせましたが、これまで2年間で13名の生徒が参加しました。

■ 参加生徒数

- H30年度：8名
- R元年度：5名
- ※R2とR3年度は中止。



■ 令和4年度～

- 派遣先：オーストラリア ケアンズ
- 対象生徒：高校2年生 ○派遣人数：5名
- 留学内容：ホームステイを通して異文化交流を行い、平日は現地語学学校で世界各国から来ている留学生と共に英会話を学び、休日は自ら計画したテーマ学習を実行。



夕張高校魅力化プロジェクトの概要②-3

チャレンジ補助

生徒が受験する各種資格検定試験や模擬試験等に係る受験費用の半額助成のほか、学校が実施する課外活動、教科活動及び高校のPR活動等に要する費用を補助するもの。

◇事業実績

H27年度の事業開始から継続して実施しており、多くの生徒の将来に向けたチャレンジを後押し、学校が実践する地域に根差した特色ある教育活動を支援することで、人材育成と夕張高校の魅力化向上を図ります。

■ 検定試験・模擬試験受験者（延べ）

H29年度（検定）	206名	（模試）	43名
H30年度（検定）	137名	（模試）	41名
R元年度（検定）	165名	（模試）	43名
R2年度（検定）	86名	（模試）	57名
R3年度（検定）	171名	（模試）	48名

■ その他補助実績（R3年度）

- ・教科活動補助（ふるさと納税商品開発など）
- ・課外活動補助（部活動の市外引率旅費など）
- ・高校PR活動補助（高校パンフレット作成）

入学支援補助

夕張高校へ入学する際、制服、体育用品及び教科書や副教材の購入費用について、その一部を助成することで、経済的負担を軽減しようとするもの。

◇事業実績

H30年度より10万円を上限とした入学支援補助を実施しており、入学の際にかかる保護者の経済的負担を軽減します。これまで5年間で103名の生徒が入学し、支援を行っています。

■ 入学者数

H30年度	： 27名
R元年度	： 20名
R2年度	： 22名
R3年度	： 16名
R4年度	： 18名



● タブレット端末購入補助（R4～R6）

令和4年度から高等学校における一人一台タブレット端末整備が進められています。道教委の方針は「保護者負担を原則」としてはいますが、購入する場合に市として補助（上限3万円）をしています。一部貸与も継続。

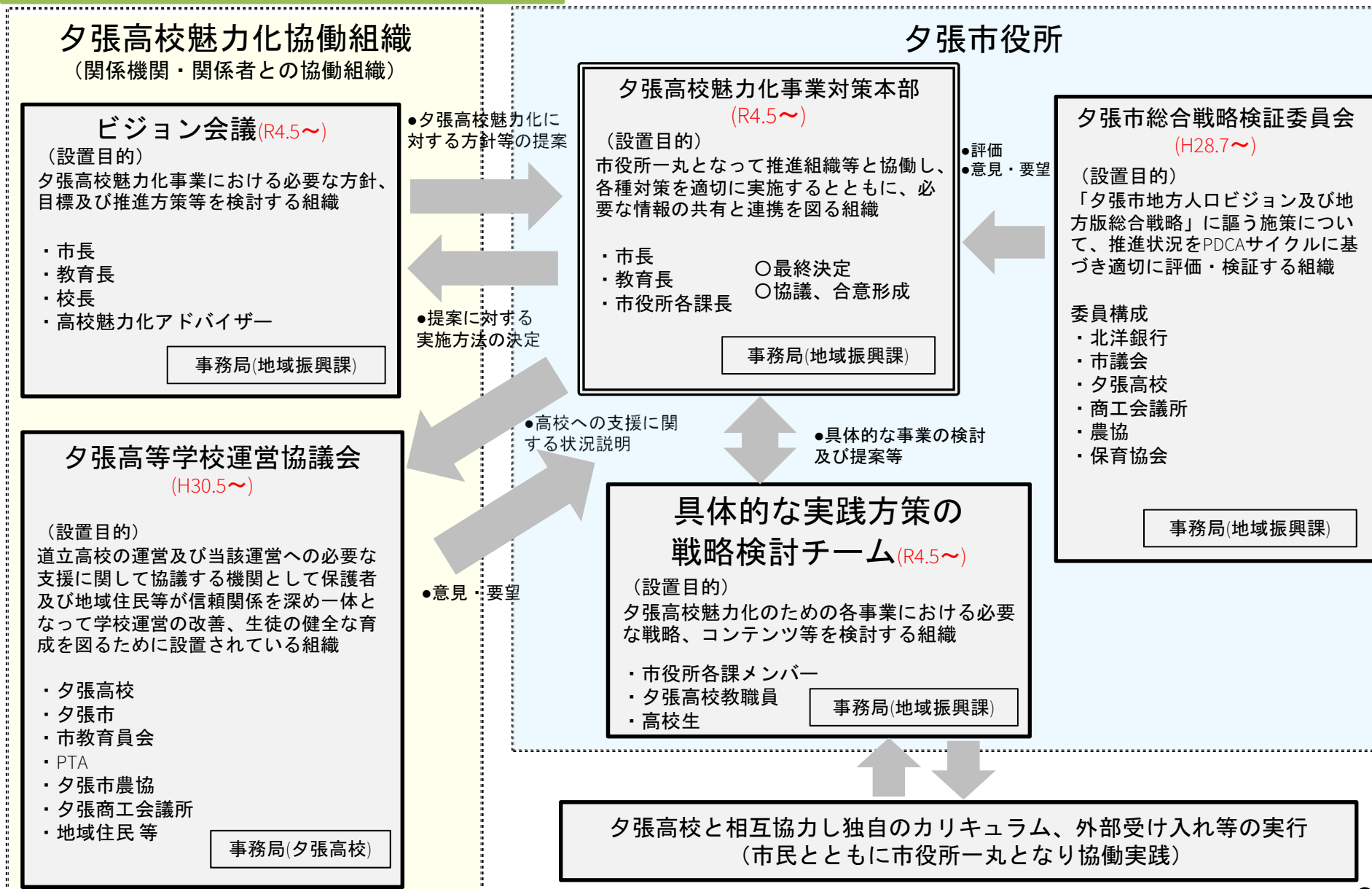
夕張高校魅力化プロジェクトの概要③

今後の取り組みについて

- 夕張高校は地理的状況等から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校として「地域連携特例校」に認定されており、現在、夕張市及び地域が行う高校教育機能の維持向上に向けた取組の重要性が増している。
- 夕張高校の存在は、将来における夕張市の存続をも左右する問題と考え、市役所全体で検討体制を整えるとともに、夕張高校と協働し夕張高校ならではの特色ある授業を企画するなど、今後も本取り組みについて高校関係者のみならず、小中学校をはじめ、地域一丸となって更に加速させていきます。
- 現在、市長、教育長、夕張高校校長により、夕張高校魅力化の推進における具体的な方針や目的など、ビジョンをあらためて明確にするとともに、ビジョンに基づく人材育成に必要なカリキュラム策定などを進めています。

(参考)夕張高校魅力化プロジェクトの概要④

夕張高校魅力化 推進体制組織図



※適宜、専門知識を有する高校魅力化アドバイザーから助言をもらう